

「かけ・ボラ」

社会福祉協議会では

ボランティアとボランティアを必要としている方を「かけはし(コーディネート)」しています。

発行/ 揖斐川ボランティア市民活動支援センター
(揖斐川町社会福祉協議会内)

TEL:(0585)23-0411 FAX:(0585)23-1678

平成23年度 災害ボランティア研修会



▲種田昌克氏による講演



▲古田良樹氏(町民ボランティア代表)による被災地支援活動報告

9月26日(月)、揖斐川町役場3階防災対策室で、災害ボランティア研修会を開催しました。今年度は、「東日本大震災における被災地支援活動報告」並びに「講演」を行いました。

「東日本大震災における被災地支援活動報告」では、3月11日に発生した「東日本大震災」の被災地で実際に活動された「揖斐川町災害ボランティア登録の方」また、被災地に派遣された「町職員」並びに「社協職員」の代表の方、それぞれの立場から被災地での支援活動報告をしていただきました。

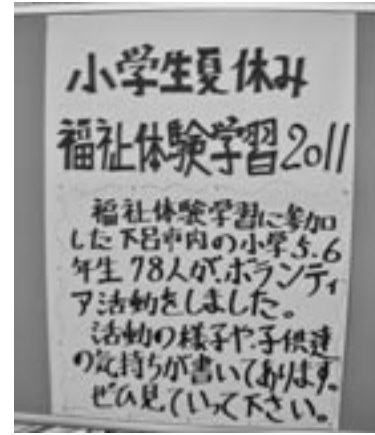
続いて、「講演」では、NPO 法人大垣防災支援ネットワーク事務局長の種田昌克氏をお招きし、「災害に備えた地域づくり～ボランティアセンター設置体制及び受援力向上にむけて～」と題し、ご講演いただきました。講演の中で、「今後発生が予想される東海・東南海地震や、災害ボランティアセンターの重要性」など、貴重な体験をもとにお話いただきました。参加者からは、「実際に被災地で活動された方の話が聞いて災害への意識が高まった」、「災害の本当の怖さを実感した」、「日頃からの備え、人間関係の大切さを感じた」、「ボランティアセンターの重要性を理解できた」など、多くの感想や意見をいただくことができ、有意義な研修会となりました。

今後、揖斐川町で大規模な災害が発生した際に、「災害ボランティアセンター」を円滑に運営できるよう、揖斐川町と連携して災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成をすすめていきます。また、平時から各関係機関、関係団体、住民の方との連携・協力関係の構築を推進していきます。

岐阜県ボランティアフェスティバル'11



◀会場内の様子



平成23年9月10日(土)、下呂市交流会館において、岐阜県ボランティアフェスティバル'11が開催され、本町からボランティア19人が参加しました。

午前中は、開会式に続きボランティア2団体の活動発表がありました。初めに、KIプロジェクト(気持ち一番プロジェクト)による東日本大震災に対するボランティア活動の報告がされました。無理なく少しでも長く続けることを目標に、一人ひとりの力の大切さ、力を合わせることで大きな力が生まれることを実感され、なお支援活動を推進されてみえます。



▲「笑顔送り隊」と「OSK5」による活動報告

また、恵那市防災研究会より、八百津町災害から学んだ教訓、死者0の協働社会を目指すために訓練、体験演習、大作戦、防災展などを実施。子どもの頃から防災の技能や技術を学ぶという地域ぐるみの取り組みを発表されました。

午後からの記念講演は「夢見る力を信じて」と題して、前川裕美氏によるお話とピアノの弾き語りでした。小学校5年生から目の病氣と闘いながらも挫けることなく、音楽家になることを忘れず現在まで明るく力強く生きてこられました。その思いを歌に乗せ、会場は大きな感動に包まれました。

「人の笑顔を見ることはできなくても、人に笑顔を与えることができたらいいなあ」と、チャップリンの映画曲「スマイル」を初め、ポップス「未来へ」、母の詩に曲をつけての共作「勇気」などを熱唱。「愛を感じ、勇気を持って行動することで希望に近づくことができます。誰もが生きていて幸せだと感じられる社会になるよう、ささいなことから始めてください」とメッセージを送られました。

その他会場では、東濃地区の授産施設によるバザー商品の販売や施設紹介、清流国体に向けてのグッズ販売などが行われ、大変賑わっていました。

ボランティアに関する
問合せ先

揖斐川ボランティア市民活動支援センター(揖斐川町社会福祉協議会内)
TEL:(0585)23-0411 FAX:(0585)23-1678